

アーバンデータチャレンジ東京 2013

実行委員会（第6回）

議事録（案）

日時：平成 25 年 9 月 26 日（木）18:00～20:00

場所：東京大学駒場第2キャンパス（Dw601）

【出席者】（敬称略、順不同）

東京大学：関本・瀬戸・仙石、日本工営：伊藤、長大：増田、国際航業：和田、朝日航洋：嘉山・大伴、建設技術研究所：藤津、IIJ：濱里・伊藤・福嶋、東京都建設局：増田、JIPDEC：郡司、NTT 空間情報：青島、OpenKnowledgeFoundationJapan：東、JACIC：高橋、インディゴ：高橋、新世代 M2M：川島

（資料）

資料 1：データ提供依頼および自治体コンタクト状況

資料 2：収集データリスト

資料 3：UDCT データ利用規約（案）

資料 4：3rd イベント概要

資料 5：ワークショップの進め方

資料 6：課題リスト（案）

資料 7：G 空間 EXPO イベント計画案

資料 8：応募要領（案）

資料 9：関連イベントスケジュール

参考資料 1：前回議事録

参考資料 2：スケジュール表

参考資料 3：実行委員名簿

■自治体からのデータ提供状況に関する情報共有

○自治体からのデータ提供状況等について、実行委員内の情報共有を図った。以下にその概要を示す。

- ・CKAN へのデータ登録は、3rd イベントに参加予定の自治体を再優先で進めている。
- ・資料 1（内部資料扱いとする）において、「交渉中」とある自治体に関しては前向きな印象を感じている。

- ・「依頼中」については、9月26日をメ切として調整中である。
- ・CKAN上にデータを登録することに抵抗があり、URIのみの提供を希望する自治体もある。その理由は、自治体がすでに公開しているデータとして考えているためである。

■収集データに関する情報共有

○自治体から収集したデータについて、実行委員内の情報共有を図った。以下にその概要を示す。

【CKANへのデータ登録】

- ・CKANへのデータ登録作業は、10月3日を目処に実施中である。
- ・収集したデータをCKAN上にも登録することが理想であるが、「データ提供を許諾しない」や「URIのみの提供」を自治体が希望する理由としては、以下の理由がある。
 - ①現時点でCKANに登録することの詳細や、どのようなリスクがあるか判断できないため、“とりあえず”今回は見送りたい
 - ②他機関（千葉市都市計画図の場合は、国土地理院）の許諾が必要であるため
 - ③CKANへ登録することに対し、各課に確認する必要があるが、URIであれば、既に各課が担当しており確認の必要が少ないため
- ・AIGIDが保有、提供しているデータのCKANへの登録も行う。ただし、登録するデータの種類を検討した上で行う。（全データの登録は行わない）
- ・民間データとして、NTT空間情報殿より、許可が得られた自治体における航空写真、基盤地図について提供頂く予定である。

【公開データとしての規約および評価】

- ・UDCT2013にて提供するデータに関する利用規約を定めた。利用規約は、CSISのHPにも掲載する。
- ・CKANにて提供する公開データについて、オープンデータとしての評価を行うことも必要ではないか。
- ・評価を行う場合、5スター方式による5段階評価が考えられる。

■3rdイベントに関する意見交換

○3rdイベントの内容について意見交換を行った。以下にその概要を示す。

【3rdイベントの内容】

- ・グループワークのグループ分けについては、参加者確定次第、事前振り分けを行う。
- ・各グループの机にはモニターを配置し、ファシリテーター・記録係によるアウトプットの整理等に利用する。
- ・ファシリテーター・記録係は、担当する分野の課題リストや提供データについて確認し、GISへの表示等の準備を行う。

- ・分野によっては、利用可能データが少ない分野があり、データが無いこと自体も課題として考えられる。ただし、無いデータ（＝あるべきデータ）が何か、現在あるデータで何ができるか？を、前もって検討しておく必要がある。
- ・3rd イベントでは、「課題解決」を直接の目的とするのではなく、「課題解決の糸口」を見出すようなスタンスとする。

【アイデアソンに関する参考情報】

- ・通常のアイデアソンでは、メインのデータセット（例えば、気象データ）を決めており、そのデータを加工した結果を集める、といった進め方が一般的である。
- ・3rd イベントにて、データを加工し造り上げる所を目指すかどうかは、分野によるため、各分野のファシリテーター・記録係が判断し進めていく方向とする。

■G 空間 EXPO イベントに関する意見交換

○G 空間 EXPO イベントの内容について意見交換を行った。以下にその概要を示す。

【イベントの内容】

- ・LOD チャレンジと協同したイベントとして行う。
- ・イベント内容については、グループディスカッションの必要性等を今後検討する。
- ・イベントが土曜日開催ということもあり、自治体の参加はあまりみ込むことができないと思われる。よって、LOD の紹介等、今後の UDCT2013 の作品づくりにつながるためのイベントとして位置づけるのがよいのではないか。

■今後のスケジュール等に関する意見交換

○今後のスケジュール等について意見交換を行った。以下にその概要を示す。

【アーバンデータチャレンジ東京 2013 応募要領（案）の内容】

- ・アーバンデータチャレンジ東京 2013 応募要領（案）は、精査を行ったうえで、プレスリリースにて発表する。
- ・最終イベントの開催場所は、東京都のホールを検討している。
- ・実行委員の応募は、評価に関与しない場合は可能とする。

【自治体への PR】

- ・首都圏の各県庁への PR における感触として、市職員の研修として需要が大きいことや、「〇〇市の課題」という明記には抵抗がある、等が挙げられる。

■その他

○次回は 11 月 6 日（水）18～20 時を予定する。

以上